

令和7年度 前期卒業証書授与式 式辞

夙川に吹く風にも秋の気配が感じられる爽やかな今日の佳き日、PTA会長様をはじめ、ご来賓の皆様、ご家族の皆様のご出席を賜り、ここに令和7年度兵庫県立西宮香風高等学校前期卒業証書授与式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました4名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。今日の卒業の日を迎えるまでには、必ずしも楽しいことばかりではなかったと思います。それでも、挫けることなく初心を貫き、今、新しい道を求めて本校を巣立っていく日を迎えたみなさんに対して、深い敬意を表したいと思います。

今日の日を待ち望んでこられたご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。立派に卒業の日を迎えられたお子様の姿に、感慨もひとしおのことと存じます。これまで多大なご支援・ご協力を賜りましたことを、教職員を代表まして厚くお礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんがこれから迎える時代は、テクノロジーの進化により、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、さらに、新型コロナウイルスの流行や地球温暖化に伴う気候変動、台風や地震といった災害など、予測が困難な事象が次々と起こっています。このように、社会の急激な変化に伴い、高度化、複雑化する諸課題への対応が必要となっており、多様なベクトルが同時に存在・交錯する先行きが不透明な社会に移行しつつあるのが現状です。このような混沌とした現代社会ではありますが、自分の夢に向かって大きく羽ばたいてゆく卒業生の皆さんに、我々教職員が願うことはただ一つです。卒業後、どうか幸せになって欲しいということです。このことについて、2つお話をさせていただきます。

1つ目は、幸せになるための「行為」についてです。人が幸せになるための研究は、これまで多種多様な分野で実践されてきました。例えば、カリフォルニア大学バークレー校の心理研究チームは、約30年かけて卒業生141名を対象に、幸福度について研究しました。卒業アルバムの写真で笑顔の人とそうでない人の30年後の幸福度を測った結果、卒業アルバムの写真が笑顔である人は、生涯にわたり幸せである傾向にある、つまり幸福度が高いとの結論を導き出しました。また、平均寿命も7才延びると述べています。最近の脳科学の研究では、笑うことによって脳内から幸福ホルモンと呼ばれる「エンドルフィン」が分泌され、つくり笑いでも幸せな気分になることがわかってきました。つまり、日々の生活で笑顔を忘れないことが、幸せにつながるということが科学的にも証明されています。

2つ目は、幸せになるための「感性」についてです。これまでの人生において、幸せを感じたときを振り返ってみてください。周囲から感謝されたとき。有名な店でおいしい料理を食べたとき。好きな人と一緒に過ごしたとき。研修旅行でディズニーランドに行ったとき。アルバイトで給与をもらったとき。部活動で試合に勝ったとき。そして、卒業を迎えた今この瞬間もそうかもしれません。幸せを感じる瞬間は、人により様々ですが、共通していることは、それら全てにおいて、人が関わっているということです。幸せは人から与えられ、自分が感じるものだと思います。ですから、他人と共に協調し、他人を思いやる心を持つことにより、自分のもとに幸せがやってくるはずです。卒業後は人とのつながりを実感し、そして常に自分の存在意義を感じる生活を送ってください。これからの人生は、必ずしも順風満帆とは限りません。しかし、どんな辛いことがあっても、どんな苦しいことがあっても、いつも笑顔を忘れず、そして他人への思いやりの心を忘れず、幸せな人生を送ってください。

新たなステージへと向かう卒業生の皆さんにとって、これからの社会は不透明で予測が困難な時代かもしれません。そのような状況下では、思いどおりにならないことも少なくないと思います。しかし、社会は必ずみなさんの活躍を必要としています。社会の変化にしなやかに適応しながら、自分を見失うことなく、本校で培った諦めない精神を糧に力強く羽ばたいてください。そして、将来この課題多き社会を支え、牽引する人財となってくれることを期待しています。みなさんのご健康とご多幸、そしてこれからのご活躍を心より祈念し、式辞といたします。

令和7年9月30日

兵庫県立西宮香風高等学校長

桑田 圭介